

# DISCO FEVER



日本が踊る!  
2018年、ディスコ☆再始動

DISCO FEVER 

第1回発売(全50タイトル/各1,000円+税)

2018.03.21 ON SALE



欲しい! 今すぐ欲しい! 使える!! — DJ OSSHY

# All That DISCO 100

## オール・ザット ディスコ100

## 一家に1セット! 泣く子も踊る 100曲収録

誰もが一度は耳にしたことのあるヒット曲を網羅!

### 60年代末~70年代中ごろ

#### プレ・ディスコ期篇

TSOP(ソウル・トレインのテーマ)(1973年)

#### MFSB

天使のささやき(1973年)

スリー・ディグリーズ

レディー・マーマレイド(1974年)

#### ラベル

愛がすべて(1975年)

スタイルスティックス

### 70年代後半

#### ディスコ黄金期篇

ザッツ・ザ・ウェイ(1975年)

KC&サンシャイン・バンド

スカイ・ハイ(1975年)

ジグソー[1975年]

ディスコ・インフェルノ(1976年)

トランプス

宇宙のファンタジー(1977年)

アース・ウインド&ファイアー

### 六本木で独自に進化した サーファー・ディスコ期篇

セプテンバー(1978年)

アース・ウインド&ファイアー

ガット・トゥー・ビー・リアル(1978年)

シェリル・リン

プライベート・アイズ(1981年)

ダリル・ホール&ジョン・オーツ

君の瞳に恋してる(1982年)

ボーイズ・タウン・ギャング



### ヨーロッパ発→

#### 歌舞伎町ディスコ篇

ダンシング・クイーン(1976年)

#### アバ

怪僧ラスプーチン(1976年)

#### ボニー・M

Y.M.C.A.(1978年)

ヴィレッジ・ピープル

ダンシング・シスター(1979年)

ノーランズ

### MTV登場~80sポツンな

#### ディスコ篇

レッツ・グルーヴ(1981年)

アース・ウインド&ファイアー

愛の残り火(1981年)

ヒューマン・リーグ

カーマは気まぐれ(1983年)

カルチャー・クラブ

テイク・オン・ミー(1985年)

a-ha

### バブル突入!

#### ユーロビート全盛期篇

ユー・スピン・ミー・ラウンド(1984年)

デッド・オア・アライヴ

ウィーナス(1986年)

バナナラマ

ギヴ・ミー・アアップ(1986年)

マイケル・フォーチュナティ

ギヴ・ユー・アアップ(1987年)

リック・アストリー

ディスコ黄金期を彩ったダンス・クラシックスから、  
バブリーな定番ユーロビートまで全部入って

3.21 ON SALE SIPC 5751-6(CD6枚組)

SPECIAL PRICE

¥4,800 (税込)

Sony Music Japan International

# DISCO FEVER



ディスコの語源となった“ディスコティーク”は、第二次大戦中のフランス・パリで生まれました。厳しいナチス・ドイツの占領下、パリの市民たちは密かにレコード盤を持ち寄ってダンスに興じたことから名づけられたとか。ちなみに、フランス語でdiscothèqueには「レコード棚」「レコード・コレクション」という意味もあるそうです。1960年代、生バンドの演奏やジューク・ボックスを置いたナイト・クラブやバーでは音楽に合わせて客が自然に踊り出す店が既に存在しましたが、70年代に入るとDJがレコードをかけて客を踊らせるスタイルが定着していきます。

アメリカはもちろん日本でもディスコ・シーンは大いに盛り上がっていましたが、セレブリティやアーティスト(と不良)が集う最先端のサロンとしてアンダーグラウンドな存在でした。70年代後半のNYは財政の悪化により犯罪が多発、人種対立的な意識が蔓延し、ネガティブな空気が社会を覆うなか、人びとが抑圧から解放される場こそがディスコで、そこに集まる人びとは年齢や国籍、肌の色、性別(LGBTも含め)も超え、まさに人種の坩堝。その煌びやかで猥雑な空間に鳴り響いたのが、ソウル、ファンク、ラテン音楽などに4つ打ちのドラム・パターンを掛け合わせ“踊らせる”ことに特化したディスコ・ミュージック。そこでは、享樂的かつ刹那的な瞬間が数々のストーリーを作り上げ、その熱狂のピークが映画『サタデー・ナイト・フィーバー』(US:1977年公開/日本:1978年7月公開)でした。

その後もダンス・ミュージックは様々な流行やブームを繰り返しながら、2010年代に入りディスコ・ブギーの再評価が大きくなるとなって襲来しました。ダフト・パンクやブルーノ・マーズがディスコへ接近し、タキシードがここ日本で大ヒットを記録。tofubeatsやT-GROOVEといった若き日本人クリエイターがメジャーな音楽シーンやワールドワイドで注目されるなど、今ディスコ・ミュージックを取り巻く状況は劇的に変化を遂げています。さあ、あなたもお気に入りの一枚を見つけて、ダンス・フロアに身を投じてみてください。Let's get the fever again!



フリーダム・フォー・ザ・スタリオン **ヒューズ・コーポレーション**  
The Hues Corporation Freedom For The Stallion

1973



史上初の全米No.1に輝いたディスコ曲「愛の航海(ロック・ザ・ポート)」を収録! ジョー・サンプルらがバックを務め、洗練されたコーラスが心地よいデビュー作。

1969年サンタモニカで結成された、女性1+男性2という編成のコーラス・グループ。本作はRCAからリリースされた彼らのデビュー作で、“史上初めて全米No.1になったディスコ曲”として知られる「愛の航海(ロック・ザ・ポート)」を収録している。クルセイダースのジョー・サンプル(p)やウィルトン・フェルダー(b)、ラリー・カールトン(g)らがバックを務め、3人のポップなコーラス・ワークが心地よい。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5701 | 解説: 岩間 慎一 |

イツ・ジャスト・ビガン **ジミー・キャスター・バンチ**  
The Jimmy Castor Bunch It's Just Begun

1972



数多くのヒップホップ名曲にサンプリングされた「イツ・ジャスト・ビガン」、最大のヒット「トロログロナイト(原始穴居人)」を収録した熱いデビュー・アルバム。

シンガー/サクソフ奏者のジミー・キャスターと、ファットバックのメンバーでもあったジェリー・トーマスにした双頭バンド。デビュー作にあたる本作は、粗削りで、男臭いストリート・ファンクで溢れている。映画『フラッシュ・ダンス』のブレイクダンス・シーンでも使用されたシア・グループ〜ブレイク・アンセムとして名高い「イツ・ジャスト・ビガン」、グループ最大のヒット「トロログロナイト(原始穴居人)」(全米6位)などを収録。

日本初CD化 | SICP-5702 | 解説: 出田 圭 |

フェイス・ホープ&チャリティ **フェイス・ホープ&チャリティ**  
Faith, Hope & Charity Faith Hope & Charity

1975



「ザ・ハッスル」のヴァン・マッコイ絶頂期のプロデュース作「トゥ・イーチ・ヒズ・オウン」を収録! スティーヴ・ガッド他“スタッフ”の面々がバックを務めている。

フロリダ出身の男女混合ヴォーカル・グループ。初期にはズレーマとして活躍するズレーマ・キューソーも在籍していた。トリオとして再出発した本作には、当時「ザ・ハッスル」で一世を風靡していたヴァン・マッコイのプロデュースでグループ最大のヒット「トゥ・イーチ・ヒズ・オウン」(R&Bチャート1位)を収録。バックはスティーヴ・ガッド(ds)やリチャード・ティー(key)、エリック・ゲイル(g)らスタッフの面々が務めている。

ボーナス・トラック3曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5703 | 解説: 林 剛 |

ナイトバース **ラベル**  
Labelle Nightbirds

1974



パティ・ラベル率いる女性グループの草分け。セクシーな歌詞とニューオーリンズのワイルドなビートの奇跡的な融合で生まれた名曲「レディー・マーマレイド」を収録している。

60年代初頭、パティ・ラベルを中心にフィラデルフィアで結成された女性ヴォーカル・グループの草分け(当初はブルーベルズと名乗っていた)。本作はニューオーリンズの顔役、アラン・トゥーサンをプロデューサーに迎えたエピック移籍第一弾。ニューオーリンズらしいビートに乗って、挑発的なフレーズが繰り返される「レディー・マーマレイド」は、全米1位/R&B1位を獲得したグループ最大のヒット曲。多くのカバーを生んだクラシックでもある。

日本初CD化 | SICP-5704 | 解説: 出田 圭 |

裏切り者のテーマ **オージェイズ**  
The O'Jays Back Stabbers

1972



「裏切り者のテーマ」(全米3位)、「ラヴ・トレイン」(全米1位)を収録。熱いヴォーカルと強いメッセージでフィリー・ソウルを体現した傑作アルバム。

オハイオ州で1958年に結成されたヴォーカル・トリオ。本作をきっかけに人気グループの地位を確立した。エディ・リヴァートを中心にした熱い歌声と強いメッセージは、フィリー・ソウルそのものともいえる。アルバムはキャンブル&ハフ総指揮のもと、聖地シグマ・サウンド・スタジオで録音され、「裏切り者のテーマ」(Back Stabbers)が全米3位、「ラヴ・トレイン」が全米No.1を獲得する大成功を収めた。

ボーナス・トラック2曲収録 | SICP-5705 | 解説: 岩間 慎一 |

ファミリー・リユニオン **オージェイズ**  
The O'Jays Family Reunion

1975



圧倒的な歌手カラとMFSBの洗練された演奏で、ギャンプル&ハフの熱いメッセージを訴える名作。「アイ・ラヴ・ミュージック」(R&Bチャート1位)を収録。

エディ・リヴァートを中心にした、70年代のフィリー・ソウル黄金期を代表するヴォーカル・トリオ。PIRの総帥、ギャンプル&ハフのメッセージを強く反映した「アイ・ラヴ・ミュージック」はR&Bチャート1位(全米5位)の大ヒットを記録。現在に至るまで多くのミュージシャンやDJに愛され、時代を超えたクラシックとして定着している。享楽的なディスコ・ブームとは一線を画した、力強いメッセージと熱い歌声が聴く者の胸を打つ。

ボーナス・トラック1曲収録 | SICP-5706 | 解説:林 剛 |

ブラック&ブルー **ハーロルド・メルヴィン&ザ・ブルー・ノーツ**  
Harold Melvin & The Blue Notes Black & Blue

1973



テディ・ペンダーグラスの咆哮に震える! ダンス・ミュージックの歴史に影響を与えた名曲「ザ・ラヴ・アイ・ロスト」(全米7位)を収録。

50年代、フィラデルフィアでハーロルド・メルヴィンを中心に結成。1970年にリード・ヴォーカリストとしてテディ・ペンダーグラスが加入して、一躍フィリー・ソウルの中心的な存在となった。本作は2ndアルバム。「ザ・ラヴ・アイ・ロスト(愛の幻想)」(全米7位)は、流麗な演奏に乗ってテディの黒々としたバリトン・ヴォーカルが炸裂した代表作。その後のダンス・ミュージックにも大きな影響を与えたクラシックとしても知られている。

| SICP-5707 | 解説:林 剛 |

スリー・ディグリーズ **スリー・ディグリーズ**  
The Three Degrees The Three Degrees

1973



日本でも人気の高い女性コーラス・トリオのPIRからのファースト・アルバム。大ヒット曲「天使のささやき」や人気曲「荒野のならず者」を収録。

1963年にフィラデルフィアで結成された女性コーラス・トリオ。1973年に人気歌番組『ソウル・トレイン』のテーマ曲「TSOP (The Sound Of Philadelphia) / MFSB」でフィーチャーされて全米No.1を獲得。本作からは東京音楽祭で金賞を受賞した「天使のささやき (When Will I See You Again)」が日本の洋楽チャートで1位を獲得して人気が爆発した。全米シングル・チャート2位、全英シングル・チャート1位も記録。他にも人気の高い「荒野のならず者 (Dirty Ol' Man)」を収録。| SICP-5708 | 解説:村岡裕司 |

ダンス・ユア・トラブルズ・アウェイ **アーチャー・ベル&ザ・ドレルズ**  
Archie Bell & The Drells Dance Your Troubles Away

1975



「レッツ・グルーヴ」(R&Bチャート7位)をはじめ、フィリー・ソウル絶頂期を彩るダンス・ナンバーが満載。

60年代中ごろ、ヒューストンで結成。1968年に「タイトゥン・アップ」が全米No.1を獲得。70年代はフィラデルフィアに活動の拠点を移し、「Father of Disco」とも呼ばれている。本作はパニー・シグラーやマクファテン&ホワイトヘッドらがバックアップのもと、「レッツ・グルーヴ」(R&Bチャート7位)、「踊りあかそう」、「ソウル・シティ・ウォーク」など高揚感溢れるダンス・ナンバーが満載。

| SICP-5709 | 解説:林 剛 |

トランプス **トランプス**  
The Trammps Trammps

1975



フィリー・ソウルとディスコが溶け合った美しすぎる名作! 人気TV番組のテーマ曲にもなった「トランプス・ディスコのテーマ」を収録。

1972年デビューで、本作は2ndアルバム。ジャケット表側には中心メンバーの5人しか写っていないが、実際はMFSBの面々も含めた大所帯グループ。「B-H-Y」ことロン・ベイカー(b)、ノーマン・ハリス(g)、アール・ヤング(ds)がプロデュースしたゴーギョスな演奏は、まさにフィリー・ソウルとディスコによる美しい融合といえるだろう。「トランプス・ディスコのテーマ」はTV番組『なるほど! ザ・ワールド』のテーマ曲としても馴染み。

ボーナス・トラック4曲収録 | SICP-5710 | 解説:林 剛 |

マイ・ミュージック バニー・シグラー  
Bunny Sigler My Music

1976



フィリー・ソウル～サルソウルを股にかけて活躍したダンス・ミュージック界の巨人が残した70'sディスコの名作。バックの演奏はインスタント・ファンクが務めている。

1941年、フィラデルフィア生まれ(2017年没)。フィリー・ソウルを代表するシンガー/ソングライター/プロデューサーであり、後にNY・サルソウルに合流し、ダンス・ミュージックの歴史に名を刻んだ。クールでファンキーな展開がスリリングなタイトル曲やニュー・ソウルが香る「カモン・アンド・ダンス・ダンス・ダンス」などを収録。バックの演奏はインスタント・ファンクが担当し、シグマ・サウンド・スタジオで録音された。

日本初CD化 | SICP-5711 | 解説:林 剛 |

ブギー・ダウン・USA ピープルズ・チョイス  
People's Choice Boogie Down U.S.A.

1975



フィリー・ソウルとしては異色のヘヴィなビートと、クセの強いバリトン・ヴォーカルが絡み合い、唯一無二の存在感を發揮。「ディスコ天国」(R&Bチャート1位)を収録。

70年代初頭にフィラデルフィアで結成されたファンク・バンド。当初は大所帯グループだったが、本作リリース時には4人組になっている。ギャンプル&ハフのプロデュースのもと、MFSBの中心メンバーのノーマン・ハリス(g)やアレンジャーとしても名高いボビー・イーライ(g)らが参加。流麗なストリングスが特徴のフィリー・ソウルにあって、異色ともいえる男臭いファンキーなベースがグイグイ引っ張る「ディスコ天国」は見事R&Bチャート1位を記録。

| SICP-5712 | 解説:林 剛 |

ウィ・ガット・ザ・リズム ピープルズ・チョイス  
People's Choice We Got The Rhythm

1976



ガラージ・クラシックとしても名高い「ヒア・ウィ・ゴー・アゲイン」収録! 「ディスコ天国」で知られるフィリーの異色ファンク・バンドの2ndアルバムが待望のCD化。

70年代初頭にフィラデルフィアで結成されたファンク・バンド。前作の「ディスコ天国」の大ヒットを受けてリリースされた2ndアルバム。ギャンプル&ハフのプロデュースで、シグマ・サウンド・スタジオで録音。ギターの高速度カッティングとエレビのエキゾチックなメロディーが印象的な「ヒア・ウィ・ゴー・アゲイン」はラリー・レヴァンも愛したガラージ・クラシック。他にも、どす黒いディスコ・ファンク「ジャム・ジャム・ジャム」などを収録。

日本初CD化 | SICP-5713 | 解説:林 剛 |

ゲット・ダウン・ウィズ・ザ・フィリー・ジャンプ インスタント・ファンク  
Instant Funk Get Down With The Philly Jump

1976



後にサルソウルで活躍するスタジオ・ミュージシャン集団のデビュー作。バニー・シグラーのプロデュースで、良質のダンス・ナンバー満載。

後に「I Got My Mind Made Up」などヒットを放ち、サルソウル・レコードの屋台骨を支えたスタジオ・ミュージシャン集団。バニー・シグラーやマンハッタンスのバック・バンドとして注目された後、フィラデルフィアに移住し、本作でデビューを果たした。クラシックと名高い「イット・エイント・レゲエ(パット・イツ・ファンキー)」、スモーキーなファンク「フィリー・ジャンプ」など良質のダンス・ナンバーを多数収録。

日本初CD化 | SICP-5714 | 解説:林 剛 |

ユニヴァーサル・ラヴ MFSB  
MFSB Universal Love

1975



マザー・ファーザー・シスター・ブラザー! フィリー・ソウルを代表する凄腕ミュージシャン集団。映画『サタデー・ナイト・フィーバー』でも使われた「ケイジー」を収録。

フィリー・ソウルの聖地、シグマ・サウンド・スタジオの凄腕ミュージシャン集団: MFSB (マザー・ファーザー・シスター・ブラザーの略)。総帥であるギャンプル&ハフのもとに、ノーマン・ハリス(g)、アール・ヤング(ds)、ヴィンス・モンタナ(vib)らお馴染みの面々が参加している。映画『サタデー・ナイト・フィーバー』のサントラ盤にも収録されたダンス・クラシック「K-Jee」をはじめ、女性コーラスを絡めた流麗なダンス・チューンが満載。

日本初CD化 | SICP-5715 | 解説:林 剛 |

## ザ・ギャンブル&ハフ・オーケストラ MFSB

MFSB The Gamble-Huff Orchestra

1978



デクスター・ウォンゼラ後期フィリー・ソウルの屋台骨を支えた凄腕ミュージシャンたちによる洗練された演奏が冴えわたる。プロデューサーとしてトム・ベルが参加。

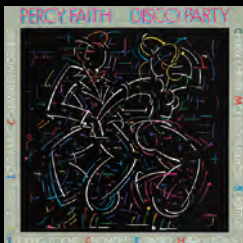
フィリー・ソウルの聖地、シグマ・スタジオの凄腕ミュージシャン集団。本作にはそれまでのMFSBメンバーがサルソウルに移った後、後期PIRを支えた重要ミュージシャンたちが結集している。キーボードのデクスター・ウォンゼラを中心に、弦楽器・管楽器の流麗なアレンジは健在。重鎮トム・ベルがプロデュースした「レッツ・パーティー・ダウン」やローズ・ロイスの名曲「ウィツ・シング・オン・ア・スター」のカヴァーなどを収録している。

日本初CD化 | SICP-5716 | 解説:林 剛 |

## ディスコ・パーティー パーシー・フェイス・オーケストラ

Percy Faith & His Orchestra Disco Party

1975



「夏の日恋」などで知られるイージー・リスニング界の巨匠がディスコ・サウンドに挑戦。ファンキーでパワフルなエキサイティング・サウンドに注目!

1908年生まれ(～1976年没)、カナダ・トロント出身。両手に大やけどを負ったことをきっかけに演奏者から指揮者・アレンジャーの道に転身。自身のオーケストラを率いて「夏の日恋」(全米チャート9週連続1位)、「デリカード」、「ムーラン・ルージュの歌」などのヒットを送り出した。本作ではベースやドラムのビートが強調されたファンキーなナンバーや、スムーズな女性コーラスを押し出した正統派オーケストラ・ディスコ・サウンドに挑戦している。

ボーナス・トラック1曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5717 | 解説:馬場敬裕 |

## 夏の日恋'76 パーシー・フェイス・オーケストラ

Percy Faith & His Orchestra Summer Place '76

1975



イージー・リスニング界の巨匠が当時流行していたディスコ・サウンドを取り入れて、自身のヒット曲「夏の日恋」を再録。生前最後の作品となった。

1908年生まれ(～1976年没)、カナダ・トロント出身で、「夏の日恋」、「ムーラン・ルージュの歌」など映画音楽で知られるイージー・リスニング界の巨匠。当時流行していたディスコ・サウンドを取り入れて、自身のヒット曲「夏の日恋」を再録音。来日公演を目前に控えていたこともあり、ラジオを中心にヘビー・ローテーションされた。来日直前にパーシーが急死したため、本作が遺作となった。

| SICP-5718 | 解説:馬場敬裕 |

## モア・モア・モア アンドレア・トゥルー・コネクション

The Andrea True Connection More, More, More

1976



「モア・モア・モア」の大ヒットで知られる女性シンガー、アンドレア・トゥルーが、“アンドレア・トゥルー・コネクション”名義でリリースした記念すべきデビュー作。

テネシー州ナッシュビル出身で、ポルノ女優としても人気を博したシンガー、アンドレア・トゥルー。本作は“アンドレア・トゥルー・コネクション”名義でのデビュー作。オーケストラ要素をふんだんに盛り込んだゴージャスなトラックに甘いヴォーカルが乗った「モア・モア・モア」(全米シングル・チャート4位/ダンス・チャート2位)は、70年代ディスコ・ミュージックのキーマン、グレッグ・ダイヤモンドがプロデュースしている。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5719 | 解説:村岡裕司 |

## ホワイト・ウィッチ アンドレア・トゥルー・コネクション

The Andrea True Connection White Witch

1977



人気女性シンガー、アンドレア・トゥルーが「モア・モア・モア」の大ヒットに続いてリリースした2ndアルバム。マイケル・ゼイガーがプロデュース。

テネシー州ナッシュビル出身で、ポルノ女優としても人気を博したシンガー、アンドレア・トゥルー。ゴージャスなトラックに甘いヴォーカルが乗った大ヒット曲「モア・モア・モア」を収録したデビュー作に続く2ndアルバム。オープニングを飾る華やかなディスコ・トラック「ホワッツ・ユア・ネーム、ホワッツ・ユア・ナンバー」は、後にホイットニー・ヒューストンやビーボ・ブライソンを手掛けたマイケル・ゼイガーがプロデュースしている。

ボーナス・トラック1曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5720 | 解説:村岡裕司 |



ネヴァ・ゴナ・レット・ユー・ゴー **ヴィッキー・スー・ロビンソン**  
Vicki Sue Robinson Never Gonna Let You Go

1976



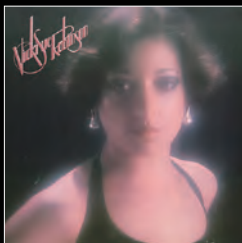
伸びやかなヴォーカルが高揚感溢れるラテン・ビートに乗って輝くダンス・クラシック「ターン・ザ・ビート・アラウンド」収録。元祖ディスコ・クイーンの鮮烈なデビュー作。

NY・ハーレム出身。16歳の時に話題のミュージカル“ヘアー”で役を得てブロードウェイで活躍。その後、音楽の世界に活動の幅を広げ、無名時代には日本で音楽活動をしていたこともある。1976年リリースのデビュー作にあたる本作からは、タッチ・オブ・クラスが提供した「ターン・ザ・ビート・アラウンド（妖精のメロディ）」がダンス・チャートで4週連続1位（Hot100でも10位）を記録。この曲は1994年にグロリア・エステファンがリバイバル・ヒットさせている。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5721 | 解説:村岡裕司 |

**ヴィッキー・スー・ロビンソン** **ヴィッキー・スー・ロビンソン**  
Vicki Sue Robinson Vicki Sue Robinson

1976



「ターン・ザ・ビート・アラウンド」の大ヒットに続く2ndアルバム。ラテン調のビートに乗った健康的なディスコ・サウンドが心地よい。

1954年、NYで舞台俳優である父とフォーク・シンガーの母の間に生まれる。16歳の時、ブロードウェイ・ミュージカル“ヘアー”で役を得たのを皮切りに、ミュージカルに立て続けに出演し、メルバ・ムーアとも共演。その後、音楽の世界に活動の幅を広げ、日本のミュージシャンたちとも所縁が深い。1975年に「ターン・ザ・ビート・アラウンド」の大ヒットでディスコ・クイーンとして成功を取めた。2ndアルバムにあたる本作では、ボビー・ウーマックの「テイルライト」のカバーなど、ミュージカルで培った歌唱力とラテン調のビートに乗った健康的なディスコ・サウンドが心地よい。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5722 | 解説:村岡裕司 |

ディス・イズ・イット **メルバ・ムーア**  
Melba Moore This Is It

1976



70年代レディー・ソウルの名盤。「ザ・ハッスル」で知られるプロデューサー、ヴァン・マッコイとタッグを組んだとびきりキャッチーなタイトル曲がヒットを記録した。

1945年、NY生まれ。1968年にブロードウェイ・ミュージカル“ヘアー”のメイン・キャストに抜擢され注目を集める。前作に続き飛ぶ鳥を落とす勢いだったプロデューサー、ヴァン・マッコイとがっちりタッグを組んだアルバム。キャッチーでアッパーなタイトル曲は全米チャート上位にランキングされた他、カーティス・メイフィールド作の傑作ニュー・ソウル・ナンバー「メイク・ミー・ビリーヴ・ユー」など、ディスコの一言で片付けるには惜しい70sレディー・ソウルの名盤。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5723 | 解説:林 剛 |

メルバ **メルバ・ムーア**  
Melba Moore Melba

1978



NY生まれのディスコ・クイーンがフィラデルフィアに赴き、マクファデン&ホワイトヘッドのもとで録音。「あなたと踊りたい」などガラージ・クラシック満載!

NY生まれの都会派ダンス・クイーン。本作はエピック移籍第一弾で、マクファデン&ホワイトヘッドにプロデュースのもと、フィリー・ソウルの聖地、シグマ・サウンド・スタジオで録音。ビー・ジーズの名曲をカバーした「ユー・ステット・イントゥ・マイ・ライフ」、「あなたと踊りたい(Pick Me Up, I'll Dance)」など伝説のDJ、ラリー・レヴァンに愛され、ガラージ・クラシックとして定着している。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5724 | 解説:岩間慎一 |

グッド・ハイ **ブリック**  
Brick Good High

1976



エネルギーに満ち溢れたファンク・チューン「ダズ」のヒットで、アトランタから全米へ名乗りをあげた5人組のデビュー作。

南部・ジョージア州アトランタ出身、ジミー・ロード・ブラウン(sax,vo他)を中心とした5人組ファンク・バンド。全米シングル3位/R&Bチャート1位の大ヒットになったファンク・チューン「ダズ」は、オールドスクール・ラップの定番ブレイクとしても知られている。曲名の“Dazz”とは、ディスコとファンクとジャズをミックスした造語。このデビュー作はR&Bアルバム・チャートでNo.1を獲得した。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5725 | 解説:JAM |



プレイ・ザット・ファンキー・ミュージック **ワイルド・チェリー**  
Wild Cherry Play That Funky Music

1976



オハイオで結成された4人組ロック・バンドの再デビュー作。全米No.1の大ヒットを記録した名曲「プレイ・ザット・ファンキー・ミュージック」収録！

1970年頃、オハイオ州で中心人物、ボブ・バリッシ(vo/g)がロック・バンド、ワイルド・チェリーを結成。レコード・デビューするがまったくの不発に終わる。1976年にエピック傘下のSweet Cityから再デビューを果たし、「プレイ・ザット・ファンキー・ミュージック」が全米No.1の大ヒットを記録。ロックと流行していたディスコを融合した斬新なこの曲は、テレビCMなどでも頻繁に使われ、たびたびリバイバル・ヒットしている。バンドは1980年に解散した。

| SICP-5726 | 解説:金澤寿和 |

太陽神 **アース・ウインド&ファイアー**  
Earth, Wind & Fire All 'N All

1977



グループの代名詞でもある「宇宙のファンタジー」をはじめ名曲のオン・パレード。“神殿と宇宙”をテーマに制作された壮大な作品で、70sソウル絶頂期を代表する名盤！

アフリカン・ミュージックとスピリチュアルな理想主義の融合を標榜した彼らの真骨頂とも言える“神殿と宇宙”をテーマに制作された7枚目のオリジナル・アルバム。EW&Fの代名詞でもある「宇宙のファンタジー」をはじめ名曲のオン・パレード。当時グループが絶頂を迎えていた証となる名盤で、繰り広げられる至福のグルーブを堪能できる。印象的なジャケット・イラストレーションは長岡秀星による。

| ボーナストラック3曲収録 | SICP-5727 | 解説:金澤寿和 |

黙示録 **アース・ウインド&ファイアー**  
Earth, Wind & Fire I Am

1979



デイヴィッド・フォスターをフィーチャーし、AORへの接近を図った名盤。ディスコ・クラシック「ブギー・ワンダーランド」や名バラード「アフター・ザ・ラヴ・ハズ・ゴーン」を収録。

若き日のD・フォスターをフィーチャーし、スティーヴ・ルカサー、ジェフ・ポーカロ(TOTO)らグループ外のミュージシャンたちも起用してAORへの接近を図り、グループが大きな転換期を迎えた8作目。グラミー賞も受賞した「アフター・ザ・ラヴ・ハズ・ゴーン」(全米シングル2位)や、エモーションズも参加したディスコ賛歌「ブギー・ワンダーランド」(全米シングル6位)などを収録している。アルバム自体も3位まで上昇した。

| ボーナストラック3曲収録 | SICP-5728 | 解説:林 剛 |

リジョイス **エモーションズ**  
The Emotions Rejoice

1977



泣く子も踊るダンス・クラシック「ベスト・オブ・マイ・ラヴ」を収録。EW&Fのモーリス・ホホワイトがプロデュースしたレディー・ソウルの傑作！

60年代から活動するシカゴ出身の姉妹グループ。本作はEW&Fのリーダー、モーリス・ホホワイトがプロデュースし、全米R&Bアルバム1位・ポップ7位を記録。ダンス・クラシックとしてあまりにも有名な「ベスト・オブ・マイ・ラヴ」(R&B・ポップ共に1位)はグラミー賞も獲得した。他にも、EW&F「セブテンパー」にも似た「恋はハブニング」などを収録。後にモーリス自らが「カリンバ・プロダクション」の最高傑作」と語る70年代女性ソウルを代表する一枚。

| SICP-5729 | 解説:林 剛 |

ラヴ・クレイジー **ミラクルズ**  
The Miracles Love Crazy

1977



ビリー・グリフィンの甘めのファルセットが名門・ミラクルズに新たな魅力をもたらした名作。『ソウル・トレイン』のライン・ダンスでお馴染み「スパイ・フォー・ブラザーフッド」を収録！

1959年、モータウン契約第1号となったスモーキー・ロビンソン率いるミラクルズ。1972年にS・ロビンソンが脱退した後も、後任リード・ヴォーカルのビリー・グリフィンを擁し、「ラヴ・マシーン」を全米No.1に送り込む。本作はコロンビア移籍第一弾。B・グリフィンの甘いファルセットを堪能できるタイトル曲や、TV歌番組『ソウル・トレイン』名物ライン・ダンスも定番曲「スパイ・フォー・ブラザーフッド」を収録している。

| ボーナストラック3曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5730 | 解説:岩間慎一 |

ミラクルズ **ミラクルズ**  
The Miracles Miracles

1978



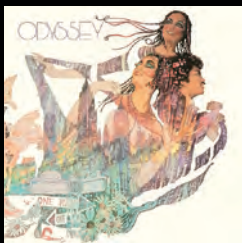
ワン&オンリーのファルセットが炸裂! ゲストにスティーヴィー・ワンダー、デイヴィッド・フォスターが参加。当初オランダだけでリリースされた幻のラスト・アルバム。

1959年、モータウン契約第1号となったスモーキー・ロビンソン率いるミラクルズ。1972年にS・ロビンソンが脱退したが、後任リード・ヴォーカルにビリー・グリフィンを迎え、「ラヴ・マシーン」を全米No.1に送り込む。本作からは「ミーン・マシーン」がシングル・カットされた。ゲストにモータウン時代のレーベル・メイト、スティーヴィー・ワンダーや、新進気鋭のデイヴィッド・フォスターらが参加。実質的に本作がラスト・アルバムとなった。

日本初CD化 | SICP-5731 | 解説: 岩間慎一 |

オデッセイ **オデッセイ**  
Odyssey Odyssey

1977



煌びやかな摩天楼をエレガントに再現したヒット曲「ネイティヴ・ニューヨーカー」を収録。コーネル・デュブリー、ゴードン・エドワーズらNYきっての凄腕が参加。

NYで結成された男女混合コーラス・トリオのデビュー作。摩天楼の華やかな雰囲気を感じさせるストリングスが印象的な「ネイティヴ・ニューヨーカー」(オリジナルはフランキー・ヴァリ)が見事チャートインした。プロデューサーはチャーリー・カレロ。コーネル・デュブリー(g)、ゴードン・エドワーズ(b)、ウィル・リー(b)、ランディ・ブレッカー(tp)ら東海岸を代表する凄腕ミュージシャンたちがバックを固めている。

ボーナス・トラック2曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5732 | 解説: 岩間慎一 |

スティング・ライク・ア・ビー **バンブルビー・アンリミテッド**  
Bumblebee Unlimited Sting Like A Bee

1979



創作力、情熱、そしてユーモア。NYディスコの最重要人物=パトリック・アダムスとグレッグ・カーマイケルによるプロジェクト、唯一のカルト・アルバム。

NYディスコ・シーンを牽引するクリエイター=パトリック・アダムスとグレッグ・カーマイケルが仕掛けるスタジオ・ユニット、唯一のアルバム。「レディー・バグ」を筆頭にアルバム全編にわたって、キュートに加工されたリロイ・パージェスの虫声ヴォーカルと、チープだが中毒性の高いベース・ラインが掛け合わされたアップリフティングなキーラ・チューン満載。ディスコ〜ハウス方面からだけでなく、レア・グルーヴ・マニアからも待ち望まれた一枚。

日本初CD化 | SICP-5733 | 解説: JAM |

インスタント・リプレイ **ダン・ハートマン**  
Dan Hartman Instant Replay

1978



マルチ・プレイヤー/シンガー・ソングライターとして活躍したダン・ハートマンの3rdアルバム。タイトル曲はダンス・チャート1位を獲得して大ヒット!

ロック・バンド、エドガー・ウィンター・グループでも活躍したマルチ・プレイヤー、ダン・ハートマンの3rdアルバム。明るく楽しいタイトル曲「インスタント・リプレイ」(ダンス・チャート1位)、高いテンションで弾ける「カウントダウン/ディス・イズ・イット」などジャケット通りカラフルでポップな作品。ダン自身がプロデュースし、ミックスはトム・モウルトンが手掛けた。ダンは1994年に43歳の若さで亡くなった。

ボーナス・トラック4曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5734 | 解説: 村岡裕司 |

リライト・マイ・ファイア **ダン・ハートマン**  
Dan Hartman Relight My Fire

1979



マルチ・プレイヤー、ダン・ハートマンの4作目。ロレット・ハロウェイのド迫力ヴォーカルをフィーチャーした代表曲「リライト・マイ・ファイア」(ダンス・チャート1位)収録。

1950年生まれ(1994年没)。マルチ・プレイヤーでシンガー・ソングライター、ダン・ハートマンの4作目。前作『インスタント・リプレイ』で確立したディスコ路線を継承して連続ヒットを記録。ロレット・ハロウェイの超響級のヴォーカルをフィーチャーした「リライト・マイ・ファイア」は、ガラージ・クラシックとして現在も人気の一曲。「ハンズ・ダウン」にはスティーヴィー・ワンダー(key)、エドガー・ウィンター(sax)がゲスト参加している。

ボーナス・トラック6曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5735 | 解説: 村岡裕司 |

## マクファデン&ホワイトヘッド **マクファデン&ホワイトヘッド**

McFadden & Whitehead McFadden & Whitehead

1979



フロアを揺らし続ける最強のダンス・クラシック「恋はノン・ストップ」(R&B1位)を収録。濃厚なヴォーカルと華麗な演奏が溶けあう後期フィリーの最高傑作!

フィリー・ソウルを代表する作家チームでもある2人が自らの名義で発表した傑作。永遠のダンス・クラシックとして愛される「恋はノン・ストップ(Ain't No Stoppin' Us Now)」は、躍動感あふれるイントロから、マクファデンのワイルドなシャウトとホワイトヘッドのスムーズなテナーが見事に溶け合い大ヒットを記録。多くのカバー・ヴァージョンが生まれた他、フィラデルフィアを本拠地とするプロ・スポーツ・チーム共通のテーマ曲としても市民に親しまれている。

| SICP-5736 | 解説:林 剛 |

## フランティック **フランティック**

Frantique Frantique

1979



フィリー・ソウル×ユーロ・ディスコの美しき邂逅。ファンキー・ディスコの名曲「ストラット・ユア・ファンキー・スタッフ」を収録。

J・ポールテンとJ・ロビンソンを中心に、バリのスタジオ・ミュージシャンたちが結成した覆面ユニット、唯一のアルバム。「ストラット・ユア・ファンキー・スタッフ」は、グイグイと体を刺激するベース・ラインに、女性ヴォーカルの「Get Up and Stand Up, Strut Your Funky Stuff」のフレーズがばっちり決まったファンキー・ディスコの名曲。ローラー・ディスコ絵柄のジャケット通り、疾走感あふれるダンス・ナンバーが堪能できる。

| 日本初CD化 | SICP-5737 | 解説:林 剛 |

## ディスコ・ナイツ **GQ**

GQ Disco Nights

1979



その名もズバリ、「ディスコ・ナイツ」(R&B1位)でデビューした4人組ファンク・バンド。若々しいエネルギーに満ち溢れたダンス・ナンバーのキレの良さは抜群!

60年代末、NY・ブロンクスで結成された4人組ファンク・バンド。一度はデビューしたものの成功を収められず、1978年にバンド名を「GQ」に改めアリスタと再契約。本作はその第一弾アルバムで、フロアで絶大な人気を誇るダンス・クラシック「ディスコ・ナイツ」(R&B1位)を収録している。他にも、同時期に活躍したア・テイスト・オブ・ハニーの「今夜はブギ・ウギ・ウギ」などキレの良い好楽曲が満載。

| ボーナストラック5曲収録 | 日本初CD化 | SICP-5738 | 解説:JAM |

## ウィナー・テイクス・オール **アイズレー・ブラザーズ**

The Isley Brothers Winner Takes All

1979



ブラック・ミュージック界の最重要グループが、絶妙のバランス感覚で時代の波に乗った1枚。「アイ・ウォナ・ビー・ウィズ・ユー」(R&B1位)を収録。

兄弟グループとして1950年代に結成され、各年代でヒットを放ち、今なお活動を続けるブラック・ミュージック界の至宝、アイズレー・ブラザーズ。本作は栄光の70年代を締めくくる大作(LPでは2枚組)で、シングル・カットされた「アイ・ウォナ・ビー・ウィズ・ユー」はR&Bチャート1位を獲得。他にもタイトルがズバリな「ディスコ・ナイト」など、より洗練された都会的なファンクへの接近を図り、新生アイズレーを印象付けた一枚。

| 2枚組LP | SICP-5739 | 解説:林 剛 |

## フォロー・ザ・レインボー **ジョージ・デューク**

George Duke Follow The Rainbow

1979



ジャズ、ファンク、ソウルなどジャンルを超えて活躍をしたキーボード奏者/シンガー/プロデューサー、ジョージ・デュークがその幅広い音楽性を示した傑作アルバム。

ジャズ、ファンク、ソウルなどジャンルを股にかけ、キーボード奏者としてだけでなく、ソロ・アーティストとしても注目を集めたジョージ・デューク。本作でもEW&Fからの影響を感じさせるオープニング「パーティー・ダウン」から、疾走感の溢れるダンス・チューン満載。録音にはEW&Fのローランド・パウティスタ(g)や後にマイケル・ジャクソンやフィル・コリンズ、ペイビーフェイスらの作品でも活躍するリッキー・ローソン(ds)らが参加している。

| ボーナストラック2曲収録 | SICP-5740 | 解説:金澤寿和 |

## ネヴァー・トゥー・マッチ ルーサー・ヴァンドロス

Luther Vandross Never Too Much

1981



これぞ80年代ブラコンの金字塔! R&B1位を記録したタイトル曲、マーカス・ミラーのスラップ・ベースが炸裂する「スーパー・レディ」などディスコの枠を超えた傑作。

70年代からスタジオ・セッションで引っ張りだこだったルーサー・ヴァンドロスが、満を持して本作でソロ・デビュー。軽快なメロディと洗練されたビートがあいまったタイトル曲は、見事R&Bチャートで1位を獲得。ダンスフロアでは、マーカス・ミラー(b)とバディ・ウィリアムス(ds)がグイグイと引っ張るヘビー級ファンク「スーパー・レディ」に人気が集中した。ルーサーはプロデューサーとしても80年代以降のR&Bシーンをリードした。

| SICP-5741 | 解説:林 剛 |

## シェリル・リン シェリル・リン

Cheryl Lynn Cheryl Lynn

1978



最強のダンス・クラシック「ガット・トゥ・ビー・リアル」収録! TOTOの面々やデイヴィッド・フォスターらがサポートした鮮烈なデビュー・アルバム。

1957年、ロサンゼルス生まれ。TVオーディション番組で注目され本作でデビュー。R&BチャートNo.1を獲得したダンス・クラシック「ガット・トゥ・ビー・リアル」は、TOTOのデイヴィッド・ヘイチ&後にスーパー・プロデューサーとなるデイヴィッド・フォスターとの共作。ジェームズ・ギャドソン(ds)、チャック・レイニー(b)、レイ・パーカーJr.(g)ら百戦錬磨のミュージシャンをバックに伸びやかに歌った傑作。

| ボーナストラック2曲収録 | SICP-5742 | 解説:林 剛 |

## イン・ザ・ナイト シェリル・リン

Cheryl Lynn In The Night

1981



サーファー・ディスコ期を代表する2大ヒット「シェイク・イット・アップ・トゥナイト」、「イン・ザ・ナイト」を収録。レイ・パーカーJr.が全面プロデュース。

「ガット・トゥ・ビー・リアル」で鮮烈にデビューした歌姫の3作目。「ウーマン・ニーズ・ラヴ」で知られるシンガー/ギタリストのレイ・パーカーJr.が全面プロデュース。他にもデイヴィッド・T・ウォーカー(g)、ジェームズ・ギャドソン(ds)ら職人ミュージシャンが参加。「シェイク・イット・アップ・トゥナイト」と「イン・ザ・ナイト」が、当時日本で流行していた「サーファー・ディスコ」を中心にヒットして、アルバムも好セールスを記録した。

| ボーナストラック1曲収録 | SICP-5743 | 解説:金澤寿和 |

## オールライト・ウィズ・ミー パティ・ラベル

Patti LaBelle It's Alright With Me

1979



スキップ・スカボロウのプロデュースで、開放感に溢れたサウンドと突き抜けたヴォーカルを堪能できる。ガラージ・クラシック「ミュージック・イズ・マイ・ウェイ・オブ・ライフ」を収録。

1944年、フィラデルフィア生まれ。全米No.1ヒット「レディー・マーメイド」で知られるラベルの中心シンガーだった。ソロ3rdアルバムにあたる本作はEW&Fをはじめ数多の名曲を生んだ職人的ソングライター、スキップ・スカボロウが全面的にプロデュース。伸びやかに歌うタイトル曲は90年代のフリー・ソウル・シーンでも注目された。ガラージ・クラシックとしても名高い「ミュージック・イズ・マイ・ウェイ・オブ・ライフ」を収録している。

| 日本初CD化 | SICP-5744 | 解説:林 剛 |

## ユー・ノウ・ハウ・トゥ・ラヴ・ミー フィリス・ハイマン

Phyllis Hyman You Know How To Love Me

1979



プロデューサーにエムトゥーメイとレジー・ルーカスを迎えた美しい歌姫の代表作。上質でフレッシュ、ポジティブに輝くタイトル曲は永遠のクラシック!

1950年、フィラデルフィア生まれ。NYのジャズ・クラブで歌っているところをノーマン・コナーズに見出されてデビュー。本作はエムトゥーメイとレジー・ルーカスのプロデュースで、セールス面でも最も成功したアルバム。派手さこそないものの、一度聴いたら忘れがたい「ユー・ノウ・ハウ・トゥ・ラヴ・ミー」はダンス・チャートでも上昇した。その後も多くのカバーが生まれるなど多くのシンガーたちから愛されるダンス・クラシック。

| ボーナストラック7曲収録 | SICP-5745 | 解説:林 剛 |



アイム・オン・マイ・ウェイ ジャッキー・ムーア  
Jackie Moore I'm On My Way

1979



サザン・ソウル×フリー・ソウル! MFBSBのギタリスト、ポビー・イーライのプロデュースで、洗練された演奏をバックに力強く歌い上げる。「ディス・タイム・ベイビー」収録。

フロリダ出身のソウル・シスター、ジャッキー・ムーア。ソウルの名門アトランティックからデビューして、本作はコロンビア移籍第一弾にあたる。シングル「ディス・タイム・ベイビー」はフリー・ソウルの職人ギタリスト、ポビー・イーライの手によるダンス・クラシック。豊潤な歌声、躍動感あふれるリズム、フリー録音ならではの洗練されたストリングスが溶けあい、至福の高揚感をもたらしてくれる。いま再評価されるべきレディー・ソウルの逸品。

日本初CD化 | SICP-5746 | 解説:林 剛 |

インサイド・オブ・ミー エスター・ウィリアムズ  
Esther Williams Inside Of Me

1981



ラリー・レヴァンをはじめ世界中のDJから熱烈に支持される歌姫のメジャー・デビュー作。ガラージ・クラシックとして名高い「アイル・ビー・ユア・プレジャー」を収録。

世界中のDJとパーティー・ピープルから支持されるアンセム「ラスト・ナイト・チェンジ・イット・オール」で知られる歌姫のメジャー・デビュー作にして、ラスト・アルバム。ハンド・クラップまじりのビートに、ハスキーかつ可憐なヴォーカルが乗ったガラージ・クラシック「アイル・ビー・ユア・プレジャー」がハイライト・トラック。その他にも70sソウル・ミュージックの薫り高いフリー・ダンサーからメロウ・チューンまで好楽曲が満載!

日本初CD化 | SICP-5747 | 解説:金澤寿和 |

ゲット・ルース イヴリン・キング  
Evelyn King Get Loose

1982



R&Bチャート5週連続1位に輝いた「ラヴ・カム・ダウン」収録! 80年代NYを代表するプロデューサー、カシーフの手による弾けたブギー・ファンク色の濃いアルバム。

1960年、NY・ブロンクス生まれ。1977年にイヴリン“シャンペン”キング名義でデビューし、いきなり「シェイム」が全米TOP10入りするヒットを記録した。この5thアルバムからは、80年代のNYを代表するシンガー/プロデューサー、カシーフの手による「ラヴ・カム・ダウン」がR&Bとダンスの両チャートで1位を獲得し、彼女の代名詞的なヒット曲になった。バラードからブギーまで棄て曲ナシ、バラエティに富んだ一枚。

ボーナス・トラック4曲収録 | SICP-5748 | 解説:林 剛 |

ドゥ・マイ・ベスト リッチー・ファミリー  
Ritchie Family I'll Do My Best

1982



華やかなタイトル曲は80年代のアーバン・ブギーの傑作! イタリア人プロデューサー、ジャック・F・ペトラスのプロデュースでよみがえった女性ヴォーカル・グループ。

フィラデルフィア出身の女性ヴォーカル・トリオ。1975年にデビューし、新旧のディスコ・ヒットをメドレー形式にした「ディスコは愛の言葉(The Best Disco in Town)」がディスコ・チャート1位に輝く。本作はRCA移籍第一弾。チェンジやハイ・ファッションを手掛けたイタリア人プロデューサー、ジャック・フレッド・ペトラスがプロデュースを担当し、オシャレでアーバンな良質の80sブラコンに仕上がっている。

日本初CD化 | SICP-5749 | 解説:金澤寿和 |

ブレイク・アウト ポインター・シスターズ  
The Pointer Sisters Break Out

1983



デジタル・フレイヴァーが盛り込まれた80sポップ・ディスコの傑作。「オートマチック」、「ジャンプ」、「ソー・エキサイテッド」などヒット曲満載!

カリフォルニア州オークランド出身、ポインター姉妹によるコーラス・トリオ。70年代前半から活動を始め、「イエス・ウィ・キャン・キャン」、「スロー・ハンド」など多くのヒット曲を生む。本作からも「オートマチック」(全米5位)、「ジャンプ」(全米3位)、「ソー・エキサイテッド」(全米9位)などポップなダンス・ヒットを量産。アルバムはUS本国だけで300万枚以上のセールスを記録し、ブラチナム・アルバムに輝いている。

ボーナス・トラック8曲収録 | SICP-5750 | 解説:矢口清治 |

# INDEX

ア	アース・ウインド&ファイアー	P07
	アーチャー・ベル&ザ・ドレルズ	P03
	アイズレー・ブラザーズ	P09
	アンドレア・トゥルー・コネクション	P05
	イヴリン・キング	P11
	インスタント・ファンク	P04
	ヴィッキー・スー・ロビンソン	P06
	エスター・ウィリアムズ	P11
	MFSB	P04, 05
	エモーションズ	P07
	オージェイズ	P02, 03
	オデッセイ	P08
サ	GQ	P09
	シェリル・リン	P10
	ジミー・キャスター・バンチ	P02
	ジョージ・デューク	P09
	ジャッキー・ムーア	P11
	スリー・ディグリーズ	P03
タ	ダン・ハートマン	P08
	トランプス	P03
ハ	パーシー・フェイス・オーケストラ	P05
	パティ・ラベル	P10
	バニー・シグラー	P04
	ハロルド・メルヴィン&ザ・ブルー・ノート	P03
	バンブルビー・アンリミテッド	P08
	ピープルズ・チョイス	P04
	ヒューズ・コーポレーション	P02
	フィリス・ハイマン	P10
	フェイス・ホープ&チャリティ	P02
	フランティーク	P09
	ブリック	P06
	ポインター・シスターズ	P11
マ	マクファデン&ホワイトヘッド	P09
	ミラクルズ	P07, 08
	メルバ・ムーア	P06
ラ	ラベル	P02
	ルーサー・ヴァンドロス	P10
	リッチー・ファミリー	P11
ワ	ワイルド・チェリー	P07

世界中で流行ったディスコ・チューンから、日本の  
フロアをアツくした超盛り上がるビッグ・ナンバーまで、  
全曲オリジナル音源&選りすぐり!!

# Let's★Disco

~The Best of Disco Hits~

全60曲  
スペシャル・プライス  
¥2,500 (税抜)

UICZ-1677/9

## レッツ★ディスコ

~ザ・ベスト・オブ・ディスコ・ヒッツ~

CD  
3枚組  
解説・  
歌詞付

3.21  
On Sale!!

### DISC 1

01. 愛のテーマ  
ラヴ・アンリミテッド・オーケストラ
02. 愛の航海  
ヒューズ・コーポレーション
03. ロック・ユア・ベイビー  
ジョーシ・マックレイ
04. フライ・ロビン・フライ  
シルバー・コンベンション
05. ラヴ・マシーン (パート1)  
ミラクルス
06. ザッツ・ザ・ウェイ  
KC&ザ・サンシャイン・バンド
07. 逆逆のテーマ (特別狙撃隊SWAT)  
リズM・ヘリテッジ
08. フレイ・ザット・ファンキー・ミュージック  
ワイルド・チェリー
09. 運命'76  
ウォルター・マーフィー
10. スター・ウォースのテーマ  
ミーコ
11. アイ・キャント・ハヴ・ユー  
イヴォンヌ・エリマン
12. 今夜はプギ・ウギ・ウギ  
テイスト・オブ・ハニー
13. マッカーサー・パーク  
ドナ・サマー
14. おしゃれフリーク  
リック
15. 恋のサヴァイヴァル  
クロリア・テイナ
16. パッド・ガール  
ドナ・サマー
17. ホップ・ミュージック  
M
18. マイ・シャローナ  
ザ・ナック
19. ファンキータウン  
リップス
20. コール・ミー  
ブロンティ

### DISC 2

01. TSOP (ソウル・トレインのテーマ) feat. スリー・ティグリス  
MFSSB
02. 吼える! ドラゴン  
カール・ダグラス
03. ビック・アップ・ザ・ピーセス  
アヴェレイシ・ホワイト・バンド
04. ザ・ハッスル  
ヴァン・マッコイ
05. 愛のディスコティック  
タレス
06. プギー・フィーヴァー  
シルヴァース
07. ラヴ・バングオーヴァー  
ダイアナ・ロス
08. ベスト・オブ・マイ・ラヴ  
エモーションズ
09. 星空のふたり  
マリリン・マックギー & ビリー・テイヴィス Jr.
10. エヴリ・ウーマン  
チャカ・カーン
11. セプテンバー  
アース・ウィンド&ファイアー
12. ホット・スタップ  
ドナ・サマー
13. グッド・タイムス  
ミック
14. テイク・ユア・タイム (パート1)  
S.O.S.バンド
15. レッツ・ゲット・シリアス  
ジャーマイン・ジャクソン
16. セレブレーション  
クール&ザ・キャンク
17. パーン・ラバー  
ギャップ・バンド
18. ラブチューアー  
ブロンティ
19. アップサイド・ダウン  
ダイアナ・ロス
20. スーパー・フリーク  
リップ・ジェームス

### DISC 3

01. 宇宙のファンタジー  
アース・ウィンド&ファイアー
02. ザ・パワフ  
コモドアース
03. ダンシング・クイーン  
アバ
04. シェイク・ユア・パーティー  
KC&ザ・サンシャイン・バンド
05. カット・トゥー・ピー・リアル  
シェリル・リン
06. タイトなあの娘  
コン・ファンク・ジャン
07. レッツ・ゴー・ラウンド・アゲイン  
アヴェレイシ・ホワイト・バンド
08. 愛がすべて  
スタイリスティックス
09. Y.M.C.A.  
ヴィレッジ・ピープル
10. 涙のリメンバー  
シラマー
11. オン・ザ・ビート  
B.B.&Q.バンド
12. 君の瞳に恋してる  
ホーイズ・タウン・キャンク
13. モア・ザン・ア・ウーマン  
タレス
14. ラヴィン・ユー・ベイビー  
KISS
15. コー・ウエスト  
ヴィレッジ・ピープル
16. ハロー・ミスター・モンキー  
アラバスク
17. ジンギスカン  
ジンギスカン
18. スカイ・ハイ  
ジグソー
19. 怪獣ラスプーチン  
ボニー・M
20. プライベート・アイス  
タリル・ホール&ジョン・オーツ



リリース・パーティー開催!

3/28 (水) 東京・日比谷 club DIANA

3/29 (木) 東京・六本木 MAHARAJA

3/30 (金) 東京・渋谷 CLUB CAMELOT

4/7 (土) 大阪・梅田 MAHARAJA大阪

4/11 (水) 愛知 MAHARAJA名古屋

4/13 (金) 京都 MAHARAJA祇園



特設WEBサイト [www.discofever.jp](http://www.discofever.jp)

